



出穂早い！ 穂肥の後は、間断かん水で根の活力を維持！ 斑点米カメムシ類急増！草刈りの徹底を！

◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の7月10日現在の生育は、平年値に比べ、草丈がやや長く、茎数、葉数、葉色が平年並みとなっています。

農業総合研究センターの調査では、出穂期は平年より2日早い予想となっています。

平坦部「雪若丸」の生育（7月10日現在）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈	55.8 cm	54.3 cm	103	やや長い
茎数	688 本/m ²	689 本/m ²	100	平年並み
葉数	10.7 枚	10.7 枚	0.0	平年並み
葉色 (SPAD)	42.9	43.7	-0.8	平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

「雪若丸」予想出穂期（7月10日現在、農業総合研究センター調べ）

場所	予想出穂期	平年出穂期 [※]	平年差
山形市みのりが丘	8月1日	8月3日	-2日
鶴岡市藤島	7月31日	8月2日	-2日

※過去7か年（H28～R4）の平均値

（1）穂肥後は間断かん水！

穂肥施用後は、飽水管理（土壌表面の足跡に水が残る程度）を行い、その後は間断かん水に移行します。2～3日毎に湛水と落水を繰り返し、根の活力維持に努めましょう。

（2）最低気温が17℃を下回るような低温の場合は深水管理！

穂孕期（出穂14日前～7日前頃）に、最低気温が17℃を下回ることが予想される場合には、深水管理で幼穂を保護し、不稔粒の発生を軽減します。

（3）斑点米カメムシ類急増！草刈りの徹底を！

斑点米カメムシ類の発生量が急増しています！出穂2週間前頃までに地域全体で畦畔や法面、農道の草刈りを進めましょう。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！